

令和7年度版

中学校外国語科 英語 教科書

Here We Go!
ENGLISH COURSE

学習者用デジタル教科書

観点別

内容と特色

内容解説資料

本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。



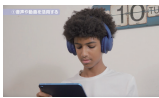
光村図書

1 デジタル化への対応

観点	内容と特色	該当コンテンツ例
デジタルコンテンツの量と質	- 日々の学習で無理なく活用できるよう、750点以上のコンテンツを精選し、音声、動画、理解度を確かめるピクチャーカードのコンテンツ、即興的に話す活動を支える動的コンテンツ、発展的なリーディング教材を設定している。 - 全て光村図書オリジナルのコンテンツのため、その内容および難易度は、教科書および中学生の発達段階に合致している。また、リンク切れなどのトラブルの心配がない。	 教科書連動QRコンテンツ「広がる学び 深まる学び」
操作性	- 各コンテンツは、画面からワンクリックで起動できる。該当の教科書内容のすぐ近くに起動ボタンを設置しており、また、起動するとその活動のコンテンツのみが表示されるため、必要なコンテンツを、迷わず開き、音声や動画をすぐに視聴できる。学校でも家庭でも、コンテンツを活用しやすい。 - 学習者用デジタル教科書と指導者用デジタル教材が同じビューアで、操作において混雑が生じにくい。 - 書き込みは、ペンやマーカーの他、スタンプや文字のタイピング入力など、さまざまな操作が直感的に行える。 - クラス全員がスムーズにデジタル教科書を活用できるよう、令和3年度版よりもデータの軽量化を図ったことで、従来以上の速さでデジタル教科書の紙面を使用できる。	 ビューアの教科書紙面イメージ
導入負担の軽減	Gmail アドレス、Microsoft アカウント、AppleID とのシングルサインオン(SSO)に対応しており、そのいずれかをを用いてログインすることが可能 (SSO 用 ID の登録が必要)。また、任意のユーザー ID、パスワードでもログイン可能。	
アフターフォローの体制	- 発行者ウェブサイトや指導書では学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法や実践事例など各種情報を提供している。 - 学習者用デジタル教科書の問い合わせ窓口として、デジタル商品サポートダイヤルやお問い合わせフォームが設けられている。	

2 言語活動の効果をも高める工夫

観点	内容と特色	該当コンテンツ例
各技能のコンテンツ	聞く  - 教科書内の全ての「聞く」活動には、ネイティブスピーカーによる朗読音声や動画コンテンツが収録されており、ネイティブの英語を聞けるようになっている。教科書紙面の音声再生においても、ネイティブスピーカーによる朗読音声を収録している。 読む  - 各 Unit に Unit 本文の続きの内容となっているリーディング教材 Extra Story が用意されており、生徒が意欲的に取り組めるようになっている。ネイティブスピーカーによる朗読音声も用意されている。 話す(やり取り・発表)  「ろくおん」という機能で、自分の発話を録音し、聞くことができるため、自分の発音を一人一人が自分で確認しながら学習を進めることができる。＊クラウド／標準ブラウザ使用のときのみの利用可能。 - 各種スピーキング活動、Story Retelling 活動のモデル動画やスピーキングの能力を測る「テストにトライ！」動画などが豊富に用意されている。 書く  - Writing モデルの PDF や書くことへの意欲を高めるアニメ動画を配置している。	該当コンテンツ例 実写ドラマ (3年 p.20)  Extra Story (3年 p.64) 
文法学習	- 各 Unit の基本文には、「Eri and Kota と学ぶ基本文」という解説動画が設定されており、生徒は教科書の登場人物たちの会話に参加し、発話することで、楽しみながら基本文について理解を深めることができる。 - 文法を学ぶ Active Grammar にキャラクターの話を聞いて、自分のことを話す練習ができる動画が用意されている。	 Let's Be Friends! ⑧ (1年 p.18)
文字や音韻の学習	1年の Let's Be Friends!、Sounds and Letters では、英語の音と文字の関係について理解を深められるよう、音声コンテンツを用意している。また、2、3年の巻末資料の「音声のまとめ」にも音声コンテンツを用意している。	
表現活動	- You Can Do It! や、Story Retelling、Let's Talk! に Speaking モデル (動画) があり、言語活動を行ううえでの参考にできる。これらの動画は、速度調整や字幕表示も可能なので、生徒が自分に合った形で参考とすることができる。 - Let's Talk! には話すトピックを選ぶルーレットコンテンツがあり、これを活用すると表現活動を行いやすくなる。 - Unit の Part 等にある「Eri and Kota と学ぶ基本文」や、Active Grammar にあるミニアニメ (About You) は、生徒の表現を促す内容となっており、表現活動の参考にもできる。 「デジタルノート」という教科書内容に合わせた思考ツールのひな型が用意されているため、表現活動の助けとすることができる。	Story Retelling モデル動画 (2年 p.124) 
資質・能力の育成	- 主教材の Unit、You Can Do It! に加え、小教材の Active Grammar や帯教材の Story Retelling、Let's Talk!、付録教材の World Tour にも資質・能力を総合的に育成するための音声、動画コンテンツが豊富に用意されている。 - 各 Unit は、扉 (本文音声、ピクチャーカードの並べかえ、スライドアニメ、実写ドラマ) → Part (本文音声、リスニング問題音声、解説動画「Eri and Kota と学ぶ基本文」) → Goal (音声) という構造で構築されており、知識・技能はもちろん、	World Tour 実写動画 (2年 p.48) 

	思考力・判断力・表現力や、主体的に学習に取り組む態度を含めた資質・能力の三つの柱がバランスよく育成できるようになっている。 文法を学ぶ Active Grammar に ミニアニメ (About You)、学期末の You Can Do It! に モデル動画 や スピーキングテスト動画、Story Retelling や Let's Talk! に モデル動画、付録教材の World Tour に 実写動画 などがあり、資質・能力の三つの柱が総合的に育成できるようになっている。	 ピクチャーカード並べかえ (1年p.27)
Unit 6 Talk-in	導入 - 各 Unit の導入では、学習を見通したり、イメージをもったりできるように、音声と「ピクチャーカード並べかえ」を用意。Unit の学習を自然に開始できるようになっている。 - 各 Unit に本文の スライドアニメと、実写のドラマも収録。ストーリーの内容を楽しみながら Unit の内容を概観することができる。スライドアニメも、実写ドラマも、再生速度の変更や字幕の表示ができるため、生徒一人一人が、自分に合った形で学習に取り組むことができる。	 実写ドラマ (2年p.94)
	展開 - 各 Part には、本文音声、リスニング問題音声、解説動画「Eri and Kota と学ぶ基本文」を設けている。 - 各 Unit に補充用リーディング教材 Extra Storyが用意されており、生徒の理解度や意欲に応じて取り組むことができる。	
	まとめ 各 Unit の Goal には、まとめの活動の音声进行を設けている。	
学期末のまとめ	学期末のまとめとなる You Can Do It! では、音声、Speaking モデル (動画)、Writing モデル (PDF)、「テストにトライ!!」(スピーキングテスト問題)を用意し、学んだことのまとめ、確認、力試しができるようになっている。	 テストにトライ!! (2年p.87)
小中接続	1年 Let's Be Friends! には、小学校での学習内容を踏まえた、音声、動画、すごろくゲームなどが用意されている。また、「アルファベットの書き方」動画もあり、円滑な小中接続を行うことができる。	
家庭学習	音声、スライドアニメ、実写ドラマ、文法などの解説動画「Eri and Kota と学ぶ基本文」、補充用のリーディング教材、Speaking モデル (動画)、「テストにトライ!!」(スピーキングテスト動画)、ICT 活用についての資料映像など、豊富な音声や動画はいつでも家庭学習や自学自習に使用することができる。自分に合った再生速度や字幕設定で、何度でもくり返し学習することができ、生徒自身で学びを自己調整しながら復習したり、予習したりすることができる。	 ICTを活用しよう (1-3年 巻頭㉔)

3 「令和の日本型教育」を実現するための工夫

観点	内容と特色	該当コンテンツ例
個別最適な学びのための工夫	- 音声、動画コンテンツにおいても、教科書紙面の音声再生においても、音声の再生速度を細かく変更することができ、生徒は自分に合ったスピードで学習ができる。また、動画コンテンツにおいては、読み上げている音声を字幕表示することができ、生徒が自分に合った形で学習に取り組めるように設計されている。 - 各 Unit の基本文には、「Eri and Kota と学ぶ基本文」という文法などの解説動画が設定されており、そのページで学ぶ基本文について、視聴者は会話に参加して、考え、発話し、楽しみながら理解を深められる。 「ろくおん」という機能で、自分の発話を録音し、聞くことができるため、自分の発音を一人一人が確認しながら学習を進めることができる。 - 各 Unit にある補充用のリーディング教材 Extra Storyは、実態に応じて取り組めるようになっている。本文の続きの内容であるため生徒が意欲的に取り組めるうえ、ネイティブスピーカーによる朗読音声も用意されているため、自学自習や家庭学習に役立てることもできる。 - You Can Do It! や Let's Talk!、Story Retelling の活動のモデル動画など、言語活動や学び方の具体的なイメージがもてる動画が豊富に用意されている。	 字幕表示機能 (左) / 速度調節機能 (右)  Eri and Kota と学ぶ基本文 (1年p.39)
協働的な学びのための工夫	- 教科書巻頭に用意された「ICTを活用しよう」という動画において、ICTを使った英語の協働的な学びの具体例が実写映像で解説されている。 - Let's Talk! の活動には、即興的なスピーチや、やり取りのモデル動画と、話すトピックを選ぶルーレットコンテンツが用意されており、協働的な学びを行いやすい。	 ICTを活用しよう (1-3年 巻頭㉔)

4 指導支援・学習支援

観点	内容と特色	該当コンテンツ例
“働き方改革”を支援するコンテンツや機能	- 各音声コンテンツ、動画コンテンツ、補充用のリーディング教材が用意されており、教員の準備負担を低減できる。 - You Can Do It! や Story Retelling、Let's Talk! のモデル動画や、ICT を使った個別最適な学び・協働的な学びの具体例を示した ICTを活用しようという動画を活用することで、生徒たち自身が学び方を理解し、自学自習できるようになり、教員の負担を低減できる。 - 指導者用デジタル教材 (クラウド使用) と連携すると、生徒の学習履歴を確認し個別の指導に役立てることができる。	 You Can Do It! Speakingモデル (2年p.87)  You Can Do It! Writingモデル (1年p.99)
評価に役立つコンテンツ	「がめんぼぞん」ボタンを使うことで、「デジタルノート」やデジタル教科書に書き込んだ内容を保存でき、それを学習支援ソフトウェアで教員に送ることができるため、評価に生かすことができる。 *学習支援ツールを用いて、学習者用デジタル教科書のスクリーンショット画像を利用する場合、学校設置者による SARTRAS への届け出と補償金の支払いが必要となります。 - You Can Do It! には、Speaking と Writing のパフォーマンスモデルが用意されており、目標の共有やふり返りはもちろん、評価に生かすこともできる。	
視認性	紙面の拡大、色の反転、色のカバー、明るさの調整、リフロー表示などの機能により、生徒一人一人が自分に合った設定でデジタル教科書を読めるようになっている。	
日本語の文字読み取り	音声の読み上げ、総ルビ表示、リフロー表示、フォント変更、分かち書き表示などの機能により、生徒一人一人が自分に合った設定で学習できるようになっている。	